

Mマガジン・サポーター(店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関	中中原区役所5Fなかはらっば 川崎市国際交流センター 川崎市生涯学習プラザ かわさき市民活動センター 川崎井田郵便局 川崎プレーメン通郵便局 川崎木月郵便局 川崎木月大町郵便局 かわさきFM 「音楽のまち・かわさき」推進協議会	中中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113 中中原区木月町2-2 Tel.044-435-7000 中中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560 中中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566 中中原区井田中/町25-1 Tel.044-766-9724 中中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800 中中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800 中中原区木月大町11-27 Tel.044-722-3617 中中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス Tel.044-712-1791 幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 Tel.044-544-9641
●元住吉西口(プレーメン通り/井田中町商店街通り)	●音楽教室 ●ワインバー ●カラオケスタジオ ●鉄板焼 ●ヘアサロン ●カフェ ●果物 ●パン ●コーヒー専門店 ●イタリア料理 ●音楽教室 ●音楽教室 ●コンラントリー ●理容室 ●接骨院 ●ヘアサロン ●デザイン制作 ●カフェ ●時計・貴金属 ●不動産	SouleaveMusic School 24 Wine&Coffee Stand ROCOOCO ゆうき亭 キャメルヘアデザイン 水谷珈琲 フルッコ リップル MUI (旧 もとえ珈琲) オステリアポッカーノ 島倉学ミュージックスクール 有隣堂日吉センター マンマチャオ元住吉店 Hair Salon Airs 井田名倉堂・栗山接骨院 波照間 アルケファクトリー フレストコーヒー つたどいてん 福街不動産
●元住吉東口(オス商店街通り)	●介護センター ●お茶 ●鍼灸院 ●Cafe+Cake ●介護センター ●古本・CD ●整骨院 ●調剤薬局 ●飲み喰い処 ●イタリア料理 ●STEAK ●Gステーション ●音楽教室	みずたま介護ステーション元住吉 金子園 和式整体&整心の「響氣」 Baloo(バルー) ツクイ 凸つと凹つと オス整骨院 綱島街道薬局 粋い仙ん 自在屋 ステーキグラム元住吉店 ENEOSダイヤ商事 Studio An(スタジオ・アン)
●元住吉近郊	●喫茶室	シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499
●武蔵小杉近郊	●紅茶専門店・喫茶室 ●蕎麦店 ●珈琲店 ●喫茶店	Tea House ローズマリー そばあざひや Cafe TEMO(テモ) Coffee Spot Life(ライブ) ショップカフェハット
●元住吉外郭・他	●調剤薬局 ●写真 ●レストラン&バー ●調剤薬局 ●カフェレストラン ●ジャズ喫茶 ●八百屋	胸沢通り薬局 PHOTO SHOP 銀嶺 Public House びあにしも オンレンジ薬局川和町店 カンファリー・ツリー マッシュマロ 八百屋ジャズ
●東京目黒区中央町2-40-8 ●東京目黒区六本木7-8-4 ●川崎区小川町16-15ヒロサワビル103号 ●横浜市都筑区川和町1218-1F ●横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協ビル ●横浜市市中区山下町214 巴里堂ビル2F ●東京都世田谷区等々力2丁目16-14	Tel.03-6412-7318 Tel.03-3408-5406 Tel.044-201-1668 Tel.045-929-1005 Tel.045-211-2200 Tel.090-2202-3294 Tel.03-3701-3860	



A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music
Mマガジン
2021年12月16日号
11月16日発行
(毎月16日発行)
第82号
発行・編集人:塚田親一
編集:藤田順治/大場明弘
発行:音楽好きな友の会
川崎市中中原区木月2-21-32
TEL 090-9398-2889
2021-11-16-800 Printing RK

▲上記、サポーター記載は無料です。

元住吉の気軽な音楽会

Music Enjoy Club
音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/

●川崎市中中原区
●「音楽のまち・かわさき」推進協議会
●公益財団法人 川崎市国際交流協会
●人形劇団ひとみ座

M 2021 12 December

●Motosumiyoshi ●Music ●Mate ●Meet ●M

音友レコード倶楽部

PR動画完成配信中!

12月の集いは中止となりました。

好評連載中「横笛のある暮らし」
黒沼千比呂

Photo: Yoshiro Yasuda

佐々木実(ささきまこと):
琵琶演奏者
8才から中国民族楽器である琵琶の勉強を始める。1992年川崎市と姉妹都市の瀋陽音楽学院民族学科卒業。同年夏に来日。以後、日中友好と中国民族音楽普及の活動を始める。かわさきアジア音楽祭、日中友好コンサート、ロビーコンサートなどで音楽活動をする一方で、川崎市内高校の中国語教師としても活動中。

連載27 そして音楽の旅は続く

My name is Yoko

My Name Is Yoko/西郷 よう子(星乃 けい) (1980)
東芝EMI・EWS-91003(Eastworld)

“この愛に生きて”が売れたので、念願のLP制作に入りました。この曲はドラマ主題歌ということもあり歌詞曲仕立てでしたが、LPでは自作と作家依頼の曲を半分ずつにして、80年代のニューミュージックそのものという仕上がりができた。「My name is Yoko」というアルバムタイトルで、当時売れっ子だった浜田金吾さん、戸塚修さん、吉川忠英さん、井上鑑さん達に曲作りやアレンジをお願いし、スタジオミュージシャンも最高で…全員のお名前を書けなくてごめんなさい。自分でもいろいろも照れませんが、今聴いても良いアルバムだと思います(^^)
YouTubeにアップしてくれてる人がいるようですので気が向いたらぜひどうぞ。

YAMAHA時代からスタジオワークが好きだったので、LP制作が嬉しくて小躍りしましたが現実にはスケジュールがぎっしり。曲作りが苦手な私は、すき間のわずかな時間に作るしかなくて、ギリギリ間に合った感じでした。そしていちばん残念だったのは、自分のレコーディングなのに忙しくてまったくスタジオに行けなかったことです。最初から最後まで自分自身で関わったかったけれど、私がスタジオに行けたのは歌をレコーディングする時だけでした。今思っても、あー残念。でもLP制作してくれたディレクターは信頼できる音楽センス!こうして良いLPを残してくれたことに深く感謝しています!そしてこのLPからシングルカットされたのが「振り向けば また」という曲。私の作詞・作曲ですが、本当は故・なかにし礼さんが書いてくれた詞がありました。なかにし礼さんの歌詞で歌えばもっともって売れたかもしれないのですが、シンガーソングライターとしての性っていうのから、どうしても自分の詞で歌いたかったので礼さんの歌詞はお返ししました。何てこと!私って本当にお馬鹿さん!失礼にもほどがある!いつか天国で礼さんにお会いする機会があったら土下座したいです。また、このLPの中からはサンヨー商会のレインコートのCMにも使っていたが、結果、たくさん売れました。ありがとうございます! さて、ちょっと横道にそれてしまいますが、少し前に「振り向けば また」のファンの方が私を探してくれて事務所にお電話をくださいました。その方はシングル

ジャズボーカリスト 星乃 けい

official website
https://www.hoshinokei.com

マザーで、当時まだ幼いお子さんを抱えて泣きながらこの曲を何度も何度も聴いてくださったって。お電話、嬉しかったです。約40年も前の、ちっぽけな私の書いた曲が彼女の人生に少しでも勇気を与えられたことに大きき心を揺さぶられました。そして私は気がつきました。曲を書く、そして発表した瞬間から私だけの曲ではなく、あなたのもので、気づくの時間がかりましたが、それからはジャズを唄う時も「作詞家・作曲家さんが私に書いてくれた曲」というつもりで大切に唄いたいと思っています。

☆Merry Christmas!... "Have Yourself A Merry Little Christmas" 素敵なクリスマスソングよね。来年もよろしく願いいたします。

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される

音友レコード倶楽部PR動画!

「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

常連の参加者との共同製作です。撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。

鳥倉学ミュージックスクール

プロ志望専門ヴォイス・トレーニング

30分無料体験レッスン実施中!

【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
鳥倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106号)
【お問い合わせ】
鳥倉音楽事務所 営業日:火曜~土曜 12:00~21:00
代表 鳥倉学 定休日:日曜・月曜
TEL 044-567-5940 Mail: info@ma-music-school.com
HP: http://www.ma-music-school.com/

川崎市国際交流センター

Online わいわい国際交流会 by KIAN

ZOOMオンラインを通じて、国籍を問わず、楽しく日本語でカジュアルにお話をする会。
今回のメインテーマは、「ホリデーシーズンのお料理」

●日時:12月18日(土)14時~14時40分
●会場:オンライン
●参加費:無料
●申込方法:メール(soudan39@kian.or.jp)にて申込。
●申込締切:12月13日(月)

【来場の注意点】
マスク着用、連絡先記入、検温、入場制限がございます。

川崎市生涯学習プラザ

第107回 ランチタイム・ロビーコンサート

●日時:12月9日(木) 12:00開演/12:10開演/12:40終演予定
●場所:川崎市生涯学習プラザ ●料金:無料
●出演:YOSHIE/ピアノ弾き語り

●プロフィール
人と人とのつながりや出会いをテーマとして作詞・作曲を手掛け、メッセージ性の強い歌詞が特徴のオリジナル曲を持つシンガーソングライター。2017年にピアノ弾き語りを独学で始め、主に東京・神奈川にて、世代をこえて親しまれるJ-POPや昭和歌謡のカバーを中心に、ホテルロビーや市役所、高齢者施設等でコンサートを精力的に行っている。

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団
総務室 総務係
ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560
E-mail:concert@kpaal.or.jp
川崎市中中原区今井南町28-41

●予定曲目
1. Let It Be
2. クリスマスメドレー
3. 忘れないうよ~はじまりの場所~(オリジナル)
4. 瞳はダイヤモンド
5. ありがとう

連載-Take 7 六本木のジャズクラブ「ミステリー」の初代ピアニストを迎えて。

塚田 親一

第1回目の「山本剛生演奏コンサート」に続き、第2回目は「菅野邦彦とその仲間」の生演奏コンサートを開催した。菅野邦彦さんは六本木のジャズクラブ「ミステリー」の初代ハウスピアニストで前回の山本剛生さんは2代目にあたる。開催にあたっては初回の経験もあり、チケット販売また会場のセッティングも初回のボランティアスタッフに応援をお願いした。今回も演奏を囲む生演奏会なので椅子のセッティングが大変だった!。また編成がピアノ、チェロ、パーカッションと言うユニークなトリオである。演奏者の方が「あのね、菅野さんは演奏が楽しいときは時間通りに進行が出来ないよ」と言われたが、その通りになった。当初45分の2ステージ演奏予定だが、1ステージが終わらない。「1ステージ終わりです」と知らせたが、結局80分通してリクエストが15分位の休み無しの演奏会になった。ピアノ脇では確か青森だったかな?常連の女性の方で、菅野邦彦さんと常連さんで盛り上がって終わらない。参加者全員もこれを楽しんでいた。会場は20:30に終わらせて片づけである。バンドの方が何とか時間内に納めてくれて無事に閉会した。しかし菅野邦彦さんの長時間の演奏は確かにご機嫌な演奏で観客の方々も有り難い事に誰一人席を立つ方がいなかった。

また録音記録を打診したが断られた。それもそのはず、菅野邦彦さんのお兄さんは「生演奏はワンポイント録音」で有名な菅野冲彦さんです。演奏終わりの打上げの時に、筆者と勤務先が一緒だった小泉清人さんが当初ベースで参加したり、また菅野邦彦さんと一緒の場所で録音ミキサーをしたりなどの話が出て「そこまでワンポイントを理解しているのなら記録をお願いしても良かったかな」と一言あった。次回のチャンスがあったときには再度お願いしてみたいと思います。1/4tapeで2tr/38cmのテープレコーダーのアナログサウンドで録音したいのですが、今となっては機材が重くて運搬が大変です。ぜひ若い人達の力を借りないと(笑)。ぜひ応援願います。

※ワンポイント録音は、2本のマイク又は1本のステレオマイクで全ての演奏楽器を収録する方法です。

「音楽好きな友の会」音友レコード倶楽部の再開と音友レコード倶楽部PR動画のお知らせ

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が全都道府県で解除されました。「音楽好きな友の会(音友会)」では、まだ感染に不安を覚えますので今しばらく様子を見たいと思います。

そこで音友会では再開時の音友レコード倶楽部当日の流れを紹介する「音友レコード倶楽部PR動画」を制作し、音友会HP、YouTubeで配信しておりますので是非ご覧ください。

なお再開は状況と同時に会場の確保などの準備が整い次第に皆様にお知らせを致します。

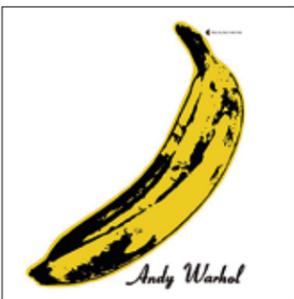
再開時には皆様のご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

(10月10日記載)

連載20 団塊じいのジャケ買い遍歴

ジャケ買いの原点。バナナのジャケット。

神山 昇



▲The Velvet Underground & Nico 1967 バナナの平坦な黄色に黒のインク。微妙なスレ、それがあってリアルティであった。

団塊じいのジャケ買い遍歴も書き始めて区切りの良い20回を迎えました。そこで、もう一度原点に戻りレコードのジャケットデザインが僕に何を与えてくれたかを考えることにしました。

幼い精神のまま、美大に入り、真っ先に洗礼を受けたのは横尾忠則のデザインだった。デザインとしてはモダンで美しい形であるとしていたから、その「嫌なモノを盗み見た」ときの感覚に衝撃を受けたのだ。もし街で見かけたら戦前の古

臭いポスターだと思って通り過ぎていただろう。それは今は無き、日本宣伝美術協会が毎年行っていた最高峰のグラフィックデザイン展第五回目で奨励賞を取っていた作品であったからだ。

何故、こんなにも「嫌なモノを盗み見た」様なデザインがモダンなデザインに混ざって賞を取ったのだろうか…。

同じ様に「嫌なモノを盗み見た」映画や演劇に同じ様に興味を持った友と親しくなって私はアンダーグラウンドの世界に恐る恐る飛び込んでいった。

そんな頃だった、いつもの様にレコード店でジャケットを眺めていたら「バナナ」が目飛び込んできた。他に何も描かれていない、一本のバナナだけである(日本ではバナナはまだ高級果実だった)。シンプル極まりないデザインである。ジャケットには「アンディ・ウォーホル」と書かれていて納得した。文化の先端をいくニューヨークを拠点として、世界的に注目されていた現代美術の寵児であった。画家・版画家でポップアートの旗手。銀髪に細身の黒のファッションスタイル。それまで画家といえはベレー帽で汚い容姿と決まっていたから、

それで「格好いいなあ」と憧れた。

彼は音楽にも手を伸ばしていた。レコードを購入してみたら、プロデューサーをしていたのだと気づく。演奏者は、ロックとノイズの饗宴と言われていた「ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ」だった。ルー・リードとジョン・ケールという二人の天才が生んだ前衛的かつ実験的なサウンドだった。大概は煩い、煩わしいと敬遠されていたが一部の音楽好きな者にとってはかなり影響されたバンドであった。ポップカルチャー情報誌・ローリング・ストーンの選ぶ歴史上最も偉大な100組のアーティスト」において第19位でもあることからもうなづける。

さて、この「バナナ」のデザインである。街の八百屋にあったら「バナナが入荷したな」と違和感すらない。しかし、ジャケットであった場合はどうだろうか。大凡がアーティストの顔であったレコードジャケット。それは「顔」が宣伝効果となっていたからだ。

確かに四畳半の我が畳部屋には mismatch だった。その部屋を出る25歳まで長いこと飾ってあった。

連載04 横笛のある暮らし

模索期へ

ちょっと特殊な音大の入試のお話をしようと思います。専攻実技(私の場合はフルート)、副専攻実技(ピアノ)、楽典、視唱、聴音、国語、英語がおおよその音大の受験科目です。楽典や聴音、国語、英語は筆記試験なので大教室で一気に入試を受験できますが、実技系は一人ずつなのでとにかく時間がかかります。それなので音大入試は1日では終わらず、数日間に渡って行われます。私の時は国語と英語をセンター試験で受けたのでその分1日減って、それ以外の科目で確か4日に渡ったと記憶しています。フルート吹いて終わり、のような日もあるので学校での滞在時間はすごく短い日も多いですが、講習会、そして入試と高3の間に同級生となるであろう人たちと最大で2週間近く顔を合わせるので、入学する頃にはすでに友達結構たくさんいるのも音大ならではの点だと思います。それに加えて私は同じ先生に習っていた同学年の子が数人いたので、高1くらいからの友達もいました。

入試の時期も所謂国立入試の時期に重なる頃でとても遅いので、普通科の私の周りはほぼ受験が終わった子ばかりでした。残るは音大を受ける私と、国立狙いのとても勉強を頑張っている人たちだったので、勉強への熱量の違いが大きかったのも面白い点でしょうか。やっと入学が決まったのは3月に入ってからでした。そこから入学に向けてレッスンは続くので、何ら状況は変わりません。

入学当時は毎日が新鮮でした。一般教養科目もあるものの、ほとんどが音楽に関わる授業。中でも好きだったのは「西洋音楽史」といういわゆるクラシック音楽の歴史の授業です。1年生の夏休みくらいまでの授業で、グレゴリオ聖歌、ネウマ譜、ドレミを作ったグイード・ダレツツォ、モノフォニー、ポリフォニー、、、中世やルネサンスの時代について、かなり丁寧な講義を受けました。すごく面白くて、興味もあったのでとても記憶に残っていたのですが、その当時の楽器や奏法について、現代においてそれを実践している演奏家がいるとは夢にも思っておらず、そのタイミングでの古楽との出会いははなりました。数年

後にルネサンス・フルートと出会って、音楽史の授業の中だけの話だったことが突然自分の目の前に降りかかってきて、ちょっと目眩がしたくらいでした。

入学して間もない頃、同門下の同級生たちでアンサンブルのレパートリーを勉強することになりました。5人いたので、「ポワモルティエ」という作曲家の5重奏を課題に出されました。当時全く聞いたことのない作曲家でしたが、この作曲家もバロック時代のフルートにとってはとても重要な作曲家で、フルートのために多くの作品を残しています。バロック・フルートを演奏するようになってすぐに勉強したのもポワモルティエの作品でした。大学入学当時の私がそれらの横笛に出会えていたらどんなに良かったか…と思いますが、きっとその後出会えたのは何か意味があったのだと思います。

大学では年に2回実技試験があります。非公開の時もありますが、コンサー



オトテール製作

I.H.ロッテンブルグ製作

「フラウト・トラヴェルソ」前号でご紹介した、オトテール製作フルート、I.H.ロッテンブルグ製作フルート、楽器全体のパーツがオトテールは3分割、ロッテンブルグは4分割。現代のフルートも3分割なのでパーツの部分ではオトテールフルートの方が似ていると言えるかもしれない。

黒沼千比呂



黒沼千比呂(くるぬまちひろ):フルート奏者
武蔵野音楽大学卒業。
現代のフルートのみならず、ルネサンス・フルート、バロック・フルートなど、当時の楽器や奏法を積極的に取り入れる古楽演奏でも活動しています。
フルートアンサンブルQuatuor acorde、コンソート、パルティカ、コレテ、デルトラヴェルソのメンバー。フルート教室ホルテ主宰。
演奏会の企画、運営、広報デザインなども担当。
http://www.porteflute.weebly.com

ト形式で行われる試験もありました。とにかく緊張しいので、なんとか克服すべく、試験前には何度も何度も友達に聴いてもらったり、部屋を借りてみんなで予行練習として演奏したり、とにかく緊張していることに慣れるように回数を重ねました。試験の演奏で成績が付くし、その成績によって選抜オーケストラや吹奏楽、など所属できるものも変わっていくので、みんな必死でした。元々比べられることに抵抗の強かった私は、だんだんこのシステムに強いストレスを感じるようになります。3年生くらいの時には「この成績の私がプロになれるはずもないし、一生人と比べられながら楽器を吹く根性は私にはないからもういいや」と思い、卒業後は音楽の道に進まないことを決めました。そして本格的に就職活動をスタートします。就活スタートが12月、3年生の後期試験が1月なので大変な時期が丸被り。先生とはとても揉めました。「卒業後に音楽をしないなら、真剣に音楽と向き合えるのは今が最後なんだからもっと真摯に取り組みなさい」という先生と、「就職先によって将来が決まるんだから就活が大切!」という私で永遠に平行線でした。

特別寄稿 Music Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談義

リンダ・ロンシュタットのスタンダード集3部作

大場アキヒロ

アメリカ西海岸を代表するフォーク・ロックシンガーのひとり、今さら説明は無用であろう。1967年にデビュー、'70年代にソロシンガーとして開花、多くのアルバムをリリースしてきた。筆者は彼女の存在は知っていたものの、自分の好みのジャンルのシンガーではなかったから、実は全く聴いてこなかった。

その彼女が1983年、名アレンジャーのネルソン・リドルと組んで、スタンダードアルバム「What's New」(写真①)をリリースした。初めて購入した彼女のアルバムがこの「What's New」だった。まず、ネルソン・リドルと組んだところに反応してしまった。ネルソン・リドルといえば、'50年代からフランク・シナトラやナット・キング・コールらのアレンジを担当してきた名アレンジャーである。アルバムタイトル曲「ホワッツ・ニュー」を始め、「ラヴァー・マン」、「クレイジー・ヒー・コールズ・ミー」などお馴染みのスタンダードナンバー全9曲をリドルのアレンジでしっとりとい吟じ上げている。このアルバムは評判を呼び、アルバムチャート3位まで上昇、アメリカ国内で

は300万枚を売り上げ、1984年のグラミー賞最優秀女性ポップ・ヴォーカル賞にノミネートされるまでに至った。このアルバムはヒットを受けて、再びリドルと組んで同様のコンセプトの「Lush Life」(1984)「For Sentimental Reasons」(1986)をリリース、リンダのスタンダード3部作といわれる。1980年代後半、カーリー・サイモン、デビー・ブーンらポップシンガーのスタンダードアルバム、ジャズアルバムのリリースが続いたが、これらはリンダのスタンダードアルバムのヒットがきっかけとなったと筆者は考えている。

この「What's New」だが、実はリンダのスタンダードアルバムはこれが最初ではない。1981年、未発表に終わったスタンダード集「KEEPING OUT OF MISCHIEF」がある(写真②)。当時の彼女はプロドウェイのミュージカルやオペラにも挑戦し、その意欲はアルバム作りにも及び、スタンダード集製作に挑戦した。アルバムは完成しレコード番号まで決まっていたが、出来に自信が持てなかったリンダはリリースを中止

したといわれている。このアルバムに収録した10曲のほとんどは後の3部作で取り上げられており、リンダ自身が出来に満足できなかったからこそ「What's New」が生まれ、後の飛躍へと繋がったと考えられる。

話を「What's New」に戻すと、アルバムのヒットを受けてツアーが行われ、1984年4月の日本公演は「ネルソン・リドル見たさに」聴きにいった(写真③、公演チケット)。この「What's New」ツアーの模様は、1984年のカリフォルニア公演を収録した映像がきっかけでリリースされたが、すでに廃盤となっており、音声のみは2019年になってCDでリリースされた(写真④)。

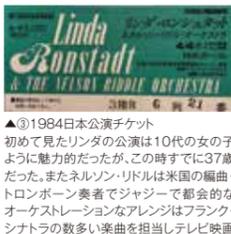
2014年、ロックの殿堂(Rock and Roll Hall of Fame)入り、2019年、ケネディ・センター名譽賞(The Kennedy Center Honors)を受賞し、名実ともにアメリカを代表するシンガーのひとりとなったが、近年パーキンソン病を患い、歌手活動を停止されているのは残念である。



▲①What's New/Linda Ronstadt



▲②Keeping Out of Mischief/Linda Ronstadt



▲③1984年日本公演チケット
初めて見たリンダの公演は10代の女子のように魅力的だったが、この時すでに37歳だった。またネルソン・リドルは米国の編曲・トロンボーン奏者でジャズで都会的なオーケストレーションアレンジはフランク・シナトラの数多い楽曲を担当したテレビ映画の「ルート66」主題曲は有名である。



▲④Lush Live/Linda Ronstadt

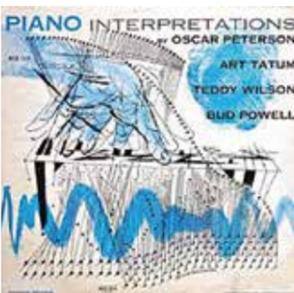
安西水丸の書齋を飾っていた2枚のレコードジャケット

先ごろ石田谷文芸館で開催されていた安西水丸展を鑑賞した時、会場の一角に水丸の多種多様な愛蔵品の展示があり、書齋に飾られていた2枚のレコードジャケットを見つけて思わず釘付けになりました。その2枚は、「Piano Interpretations」(写真①)と「Trombone by Three」(写真②)です。ジャズに詳しい人なら、見たとたんいろいろな情報が頭をよぎったと思いますが、私はただ2枚の絵柄に魅かれて、作者を知りたくなりました。

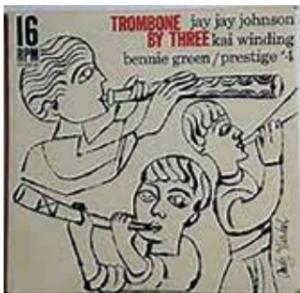
オスカー・ピーターソン、アート・テイタム、ティディ・ウィルソン、バド・パウエルのソロ演奏を集めた「Piano Interpretations」(1955)のジャケットの作者は、デビッド・ストーン・マーチン(1913-1992)という、ジャズレコードアルバムの表紙絵で名を馳せた有名なイラストレーターでした。同じテイタムのジャケットを見かけることも多いはずで、マーチンが手掛けた表紙絵は

ウィキペディアによると400を超えるそうです。展示会場でレーベルを見落とっていたので、改めて調べるとClef RecordsとNorgran Recordsがありました。水丸コレクションはどちらだったのか、展覧会も終了して確かめる術もありませんが、ブルー基調が冴える描画はとても印象的でした。

さてもう一枚の「Trombone by Three」は初めて見るジャケットでした。得も言われぬ味わいのあるデザイン。作者はなんとアンディ・ウォーホル。3人の奏者をアレンジした描画には基になったと思われる原画がありました。楽士に囲まれてピアノを奏するダビデ王を描いた8世紀の図絵(写真③)です。ウォーホルは、絵画中のホルン奏者を独自のスタイルで見事にレコード表紙絵に着地させています。奏者は3人に変更しながら、楽器はトロンボーンではなくホルンのままなので、意外性が目を引き大きな魅力になっています。



▲①Piano Interpretations/Oscar Peterson



▲②Trombone by Three/J.J. Johnson



▲③楽士に囲まれてピアノを奏するダビデ王

吉井ちづ子

1957年制作のこのアルバムは、前年に発売された2枚のPrestige LP「Trombone by Three」(PRLP-7023)及び「Kai And Jay, Bennie Green With Strings」(PRLP-7030)を1枚の12インチのレコードに集約したコンピレーションでした。いずれ劣らぬ人気を誇っていたJ.J.ジョンソン、カイ・ウィンディング、ベニー・グリーンらの演奏を集めたこのアルバムが稀少品であるのは、ウォーホルのデザインもさることながら、16回転という回転数で、通常の33 1/3回転の半分の速度機能を備えたレコードプレーヤーがなければ聴くことが出来ず、したがってさほど普及しなかったようです。

ジャズを愛した安西水丸が大切にしていたジャケットからは、好みのジャズの一部が偲ばれるようでした。

連載63 「くじら座」日記

クリスマスソング

ハロウィンが終わったら街は一気にクリスマス仕様。以前アクセサリーショップで働いていた頃は、クリスマスはプレゼント需要で一年で一番の繁忙期でした。今だから言える話だけど、書き入れ時以外は小さな敷地で少人数のスタッフだったので、一人で店番の時はこっそり詞を書いたりしていました。

ありきたりの商業戦略とわかってはいても、コロナ禍2度目の冬、季節感を感じる装飾やディスプレイもいいものだな、と思うようになりました。それに併せて街中で流れているクリスマスソングやウィンターソング。みなさまは好きな曲はありますか?

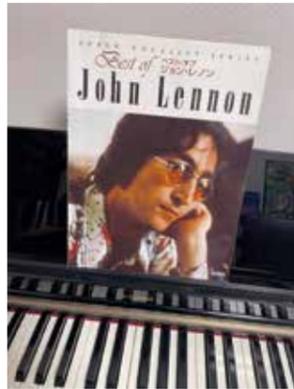
私は好きな曲は多々ありますが、ひとつ選ぶなら断トツにJohn Lennonの「Happy Xmas(War is Over)」です。好きという言葉では表せないくらい、シンプルなメロディーと歌詞なのに深く突

き刺さってなぜか涙が出てきます。それにメロディーと歌詞抜きにしても、序盤から中盤にかけての伴奏のリズムチェンジが素晴らしいです。私の解釈ですが、あくまで伴奏が、です。表記は8分の6拍子ですが、序盤は16分音符3つのかたまり×4、中盤は8分音符×6となっており、1.5倍早くなったように感じる計算です。また、コーラスで2回転調しているのも秀逸です。

曲が進むにつれ音数が多くなってゆくこの曲は、The Beatles解散後の1971年、泥沼化するベトナム戦争中に発表されました。特に32分音符のドラムの音は、銃声を彷彿させているように思っ止まません。今もどこかで鳴っている銃声が止まりますよう、人々が遍く笑顔でクリスマスを迎えられるよう、コロナ禍の不安から解放されますよう、望みは尽きませんがどうか皆様安らか

牧野くみ

な時間を過ごせますように。
Mery Xmas and happy new year.



連載44 Course: Addicted to Guitar

ファンクギターの花形、カッティングソロ その2 永瀬 晋

お世話になっております。今月もまたギターを始めたいばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクールの永瀬晋がお送りいたします。このところ継続中のファンクギターカッティングの続きです。前回の続きでさらに複雑な動きを混ぜたカッティングソロの例題になります。では分析していきましょう。使っている音階は、いつも通りAmペンタトニックスケールを軸にしています。まず1小節目はマイナーペンタトニックに6度を足して、ドリアンモードとして和音を弾いています。そこから単音カッティング→複音カッ

ティングと変化していき、また2小節目で6度の音を足してドリアンモードの雰囲気を出しつつ、チョーキングも混ぜています。この流れをリピートさせて一つの流れを作っています。このようにマイナーキーのファンダンスミュージック系はドリアンモードを使

うことが多いですね。構成音はマイナーペンタトニックに2度、6度を足した形になります。普段の練習からドリアンモードを仕込んで頂くのがお勧めです! こんな感じで是非自分だけのパターンを作ってみてくださいませ! というわけでまた次回!



ソウリーヴ・ミュージック・スクール
Souleave Music School
http://souleave-music.com/
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992
AM8:00/PM22:00start

MOTTON CLUB
地域の、全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わるあらゆる人をネットワークしたい。
演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動を後押ししていくことが目的です。
元住吉から世界に向けて配信していきます。アーティストメンバー募集中!!
現在、登録アーティストメンバーが演奏動画を配信しています。
演奏者の方々に「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画を募集しています。
(近郊で企画、運営可能なスタッフメンバーを募集中です)

